

## 令和2年第3回厚真町議会定例会一般質問通告一覧表

(令和2年9月17日)

通告議員氏名	質 問 の 要 旨	備考
1	<p><b>伊藤富志夫</b></p> <p><b>1 防災について「2年目の検証」</b></p> <p>① 町では、平成30年北海道胆振東部地震「厚真町災害対応検証」報告書を作成しているが、町以外の関係機関を含めた検証報告も必要ではないか。</p> <p>② 初動対応の検証に関わり、指定避難所以外の避難所が開設・運営されたときの対応も必要ではないか。</p> <p>③ 防災にとって地域の防災力向上は平時から大事な取り組みである。地域コミュニティづくりをどのように具体的に進めていくか。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、「自治会防災マニュアル」等を作成していったらどうか。</p> <p><b>2 浜厚真地区風力発電事業計画について</b></p> <p>① 風力発電を含めた再生可能エネルギーについて、町はどのように考えているのか。</p> <p style="padding-left: 2em;">仮に推進するのであれば、どのような留意事項を想定しているのか。</p> <p>② 浜厚真地区での計画について、配慮書では「重大な影響が…低減されている」とある。その科学的根拠を町民に示す必要があると思われるが、どのように考えているのか。</p> <p style="padding-left: 2em;">また、今後の調査を含めて、データの開示を要望するが、交渉してもらえるか。</p> <p>③ 住民サイドのさまざまな不安の声を払拭するためにも、町主催による学習会を開催できないか。</p>	<p>収受 9/4</p>
2	<p><b>橋本 豊</b></p> <p><b>1 被災者の今後の支援について</b></p> <p>震災から2年が経過し、応急仮設住宅からの退去期限も迫っている中で、新たな住宅に移り住むことになる。</p> <p>被災者の皆さんは、いろいろな不安を抱えており、町としてこらからも被災者により添った支援が必要だと思うが、今後の支援をどのように考えているか。</p> <p><b>2 歩道の環境整備について</b></p> <p>町内全域にわたり道路の草刈りを年1～2回、地域の自治</p>	<p>収受 9/7</p>

		<p>会や業者により行われているが、歩道がある道路については、場所によっては今現在、雑草が伸びすぎて歩行やジョギング、ペットの散歩等に支障をきたしている場所が見受けられる。そのようなことが改善される環境整備は出来ないものか。</p>	
3	高田 芳和	<p><b>水産振興 ホタテ稚貝放流事業の再開について</b></p> <p>鵠川漁協厚真支所の主要水揚げは、カレイ類・シシャモ・ホッキ貝となっていますが、コロナ禍の影響による消費低迷で安値が続き漁業経営は厳しい環境にあります。</p> <p>安定した漁業経営を確立していくためには、操業してみなければ分からない魚類よりも資源管理がしやすい貝類が最適と思います。</p> <p>平成10年から厚真・苫小牧・鵠川漁協の3協共同でホタテ稚貝放流事業をしていたが、平成15年の台風被害で事業を止めた経過があります。現在、厚真沖において厚真支所組合員により天然ホタテ貝操業を単発的に行っていますがこれを安定的な資源にして毎年操業できるようにするため、厚真沖で厚真支所組合員によりホタテ稚貝放流事業を再開すべきと思いますが町長の考えを伺う。</p>	<p>収受 9/7</p>
4	吉岡 茂樹	<p><b>1 パークゴルフ場の設置について</b></p> <p>北海道胆振東部地震災害から2年が経過し、第1期・第2期厚真町復興計画が策定された。</p> <p>インフラ事業は順調に進んでいるが、復旧から復興へと進む中で、旧新町パークゴルフ場について今後の再建について問う。</p> <p><b>2 交通安全対策について</b></p> <p>道道上幌内早来停車場線と道道夕張厚真停車場線のT字路交差点の交通安全対策について、また、高丘方面より幌内線を左折する際の一番の見通し障害となっている、昭和32年11月に建立された松浦武四郎氏の記念碑（厚真町記念物第7号）の移築の提案を平成29年第1回定例会で一般質問したが、その後の経過について問う。</p>	<p>収受 9/8</p>
5	下司 義之	<p><b>1 総合計画</b></p> <p>2016年（平成28年）から計画期間が始まった第4次厚真町総合計画の実施計画は3年を一期とし、毎年見直しを行うローリング方式を採用しているが、総合計画7ページ3実施計</p>	<p>収受 9/8</p>

画には、2021年（令和3年）から改正計画5年間となっている。

2018年9月に大きな災害を経験した状況の中で、総合計画の見直しを行わなければならないと思うが、改正計画の取り組み状況を問う。

## 2 大沼野営場

新型コロナウイルス感染症は人の動きにも大きく影響し、観光分野では野外観光施設であるキャンプ場等の利用が多くなっている様である。

町内で数少ないキャンプ場である大沼野営場の利用状況と、今後の活用方針を問う。

## 3 農畜産物直売所

厚真町第4次総合計画、基本計画、基本施策13観光・交流のまちづくり推進2グリーンツーリズムの推進の中で農畜産物直売所の設置を推進するとある。

町外から来られる方はもとより、町民及び町内業者からも設置の要望があるが、推進状況を問う。

## 4 コロナウイルス感染症対策

コロナウイルス感染症の感染対策に関し、感染経路として、口、鼻、肛門があることから、トイレ掃除の感染対策を質問する。

町内公共施設の清掃委託状況と感染対策は。

## 5 町民の健康増進

厚真町の特産品であるハスカップは、近年の研究により薬事面より多様な有効性が確認されている。総合計画では産業分野での位置づけはあるが、健康分野での位置づけが無い。厚真町が農業を基幹産業とするのであれば、地域の農産品と関連付けた食からの健康づくりの取り組みがあるべきであるし、その中心としてハスカップを取り上げるべきと思うが。

## 6 こぶしの湯

コロナウイルス感染症の影響によりこぶしの湯を一定期間閉館したが、町民の中には銭湯代わりに利用されている方も居て、近隣の公共浴場を町外者が利用できない中、非常に不便をお掛けした。

こぶしの湯が町内で唯一の公共浴場なので、その運営においては経済面以外の視点が必要かと思う。

胆振東部地震の時もこぶしの湯に求められたのは、入浴施設としての機能であったが、町長の見解は。

6	秋永 徹	<b>胆振東部地震被害の復旧・復興について</b> ① 山腹崩壊が約3,200ha以上発生している。 町長は「森林の再生」というが、復旧スケジュールと方法は。 ② 民有林の復旧について、制度上の支障はあるのか。あるとしたら、どのように解決するのか。 ③ 山腹崩壊により河川の水質が悪くなっているが、漁業被害はあるのではないのか。	収受 9/8
---	------	--	-----------